

別表第4 エコリフォーム対象基準

1 建具の種類等

| 建具の種類又はその組み合わせ                        | 代表的なガラスの組合せ例   |
|---------------------------------------|--|
| 二重構造のガラス入り建具で、ガラス中央部の熱貫流率が4.00以下であるもの | ガラス単板入り建具の二重構造であるもの                                  |
| 一重構造のガラス入り建具で、ガラス中央部の熱貫流率が4.00以下であるもの | ガラス単板2枚使用（中間空気層12mm以上のもの）又は複層ガラス（空気層6mmのもの）入り建具であるもの |

※1 ガラス中央部の熱貫流率は、日本工業規格R3107-1998（板ガラス類の熱抵抗及び建築における熱貫流率の算定方法）又は日本工業規格A1420-1999（建築用構成材の断熱性測定方法）に定める測定方法によるものとする。

※2 上記と同等以上の性能を有することを確認できる内窓設置、外窓交換、ガラス交換については、これによらず、補助対象とすることができる。

2 断熱材最低使用量

| 断熱材区分 ※1 | 断熱材最低使用量 (m <sup>3</sup> ) |       |      |
|----------|----------------------------|-------|------|
|          | 外壁                         | 屋根・天井 | 床 ※2 |
| A-1      | 6.0                        | 6.0   | 3.0  |
| A-2      |                            |       |      |
| B        |                            |       |      |
| C        | 4.0                        | 3.5   | 2.0  |
| D        |                            |       |      |
| E        |                            |       |      |
| F        |                            |       |      |

※1 断熱材の各区分については別表第4-3を参照する。

※2 基礎断熱の場合の最低使用量は、床の最低使用量に0.3を乗じた値とする。

### 3 断熱材の種類

| 断熱材区分 | 熱伝導率[W/(m・K)] | 断熱材の種類の例   |
|-------|---------------|--|
| A-1   | 0.052~0.051   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹込み用グラスウール（施工密度 13K、18K）</li> <li>・建材畳床（Ⅲ型）</li> <li>・インシュレーションファイバー断熱材 ファイバーボード</li> </ul>  |
| A-2   | 0.050~0.046   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅用グラスウール断熱材 10K相当</li> <li>・建材畳床（K, N型）</li> <li>・吹込み用ロックウール断熱材 25K</li> </ul>  |
| B     | 0.045~0.041   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅用グラスウール断熱材 16K相当</li> <li>・住宅用グラスウール断熱材 20K相当</li> <li>・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板 4号</li> <li>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 4号</li> <li>・A種ポリエチレンフォーム保温板 1種 2号</li> <li>・ポリエチレンフォーム断熱材 1種 1号</li> <li>・ポリエチレンフォーム断熱材 1種 2号</li> <li>・ロックウール断熱材 LA、LB、LC</li> </ul>  |
| C     | 0.040~0.035   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅用グラスウール断熱材 24K相当</li> <li>・住宅用グラスウール断熱材 32K相当</li> <li>・高性能グラスウール断熱材 16K相当</li> <li>・高性能グラスウール断熱材 24K相当</li> <li>・高性能グラスウール断熱材 32K相当</li> <li>・吹込み用グラスウール断熱材 30K、35K相当</li> <li>・ロックウール断熱材（マット）</li> <li>・ロックウール断熱材（フェルト）</li> <li>・ロックウール断熱材（ボード）</li> <li>・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板 1号</li> <li>・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板 2号</li> <li>・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板 3号</li> <li>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 2号</li> <li>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 3号</li> <li>・押出法ポリスチレンフォーム保温板 1種</li> <li>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 1種</li> <li>・吹付け硬質ウレタンフォーム A種 3</li> <li>・A種ポリエチレンフォーム保温板 2種</li> <li>・ポリエチレンフォーム断熱材 2種</li> <li>・フェノールフォーム断熱材 2種 1号</li> <li>・吹込み用セルローズファイバー 25K</li> <li>・吹込み用セルローズファイバー 45K</li> <li>・吹込み用セルローズファイバー 55K</li> <li>・吹込み用ロックウール断熱材 65K相当</li> <li>・ロックウール断熱材 LD、MA、MB、MC、HA、HB</li> <li>・インシュレーションファイバー断熱材 ファイバーマット</li> </ul> |

|   |             |  |
|---|-------------|--|
| D | 0.034~0.029 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・高性能グラスウール断熱材 40K相当</li> <li>・高性能グラスウール断熱材 48K相当</li> <li>・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板特号</li> <li>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 1号</li> <li>・押出法ポリスチレンフォーム保温板 2種</li> <li>・硬質ウレタンフォーム断熱材 1種</li> <li>・吹付け硬質ウレタンフォーム A種 1</li> <li>・ポリエチレンフォーム断熱材 3種</li> <li>・A種フェノールフォーム保温板 2種 2号</li> <li>・ロックウール断熱材 HC</li> </ul> |
| E | 0.028~0.023 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・押出法ポリスチレンフォーム保温板 3種</li> <li>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 a A、a B、a C、b A、b B、b C</li> <li>・硬質ウレタンフォーム保温板 2種 1号</li> <li>・硬質ウレタンフォーム保温板 2種 2号</li> <li>・硬質ウレタンフォーム断熱材 2種</li> <li>・吹付硬質ウレタンフォーム A種 1 H</li> </ul>  |
| F | 0.022 以下    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェノールフォーム保温板 1種 1号</li> <li>・フェノールフォーム保温板 1種 2号</li> <li>・フェノールフォーム断熱材 1種</li> </ul>   |

※ 使用する断熱材は JIS A9504、JIS A9511、JIS A9521、JIS A9526、JIS A5905 に適合している認証を受けていること又は、それと同等の性能を有することが証明されていること等、熱伝導率等の断熱性能が確認されたものであること。